

日蓮大聖人御書全集

べんどのごしょうそく

弁殿御消息

ほうもんちようもん こと

（法門聴聞の事）

新版
1634

べんどのごしようそく ほうもんちようもん こと

弁殿御消息（法門聴聞の事）

ぶんえい ねん がつ にち さい につしよう だいしんのあじやり さんみぼう

文永9年（'72）7月26日 51歳 日昭・大進阿闍梨・三位房

しよ ずいぶん ひしよ いぜん がくもん とき ぞん

この書は随分の秘書なり。已前の学文の時もいまだ存ぜ

の たにん ごちようもん いぜん

られざること、ほぼこれを載す。他人の御聴聞なからん已前

ごぞんち そう 具 至 ひと

に御存知あるべし。総じては、これよりぐしていたらん人に

ほうもん ごちようもん たが してい

よりて法門は御聴聞あるべし。互いに師弟とならんか。

きようきようきんげん

恐々謹言。

しちがつにじゅうろくにち

七月二十六日

べんどの

弁殿

にちれん かおう

日蓮 花押

だいしんのあじやりのごぼう
大進阿闍梨御房

さんみどの

三位殿

ふしんあ

不審有らば、

じようろんな

諍論無く、

か付

書きつけて至らしむべし。

いた